

特定非営利活動法人



日本多発性硬化症協会

(略称：日本 MS 協会)

PACTRIMS 2013 KYOTO

(Pan-Asian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis) と SATELLITE WORKSHOPが京都にて 2013 年 11 月 7 日開催されました

第 6 回 PACTRIMS 会議が日本の京都にて 11 月 6 日から 8 日までの 3 日間開催。

11 月 7 日の午後 PACTRIMS 会議にて「Special Talk from MS patients groups」のテーマの下、日本 MS 協会の井形理事長、全国 MS 友の会の嶺岸会長、MS キャビンの中田理事長（代読 日本 MS 協会、中島事務局長）、そして、韓国、インド、オーストラリアの代表の方々が引き続き各協会と活動を紹介。その後、会場を近くの京都市国際交流会館に移し、サテライトワークショップ（分科会）を日本 MS 協会、全国 MS 友の会、MS キャビン合同企画で開催。日本から 21 名、インドから 2 名、韓国 3 名、シンガポール 1 名の合計 27 名が参加。参加者の自己紹介、各国から寄せられたアンケートの結果報告と意見交換、インドのドクターによるリハビリテーションのプレゼン。今回アンケートは下記の国々から寄せられましたので紹介致します、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、台湾、香港、インド、マレーシアそして日本。アンケートを頂いた皆様に深く感謝。

「MS 協会と MS 支援組織のアジア・オセアニア地域における役割」と題し、PACTRIMS に平行して MS 支援組織が初めて開催。有意義な情報交換の場となりましたこと報告します。また、PACTRIMS プレジデントの斎田先生がワークショップに参加してくださいました。最後の集合写真を撮る頃には、参加した皆様の笑顔がまぶしく「やった！」と感じましたのは私だけではないでしょう。大変お疲れ様でした。

全国 MS 友の会の皆様、韓国代表の皆様、インド代表の皆様、シンガポールの友、日本の一般参加の皆様、日本 MS 協会の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



